

JFA

日本フリスビードッグ協会会報

2009 January

URL <http://www.frisbeedog.co.jp/>

SKY DOG[®] SPORT

vol.19



特集 ジャパンファイナル2008



西山哲也&サリー

関西勢初のグランドチャンピオン獲得！

友広祐也&JET

2度目のフリーフライトチャンピオン獲得！

JAPAN FINAL 2008 in 三重伊賀

第15回目を迎えたジャパンファイナル2008は、去る11月1日(土)～3日(月・祝)の三日間にわたって、三重県伊賀市「上野運動公園野球場」において開催されました。

今回の大会は、三重県伊賀市並びに社団法人伊賀上野観光協会より後援を受け、2度目のジャパンファイナル開催となりました。

今大会の誘致・運営にご協力いただいた皆様、そして、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。また、年間を通してご協賛いただいたスポンサー各社様にも、心よりお礼申し上げます。



DAY-1 2008.11.1(土)

- 晴、弱風時々強風
- ユースオープン部の部・シニアドッグの部・ペアの部

好天に恵まれた初日、早朝は若干風が強く感じられましたが、ジャパンファイナルノミネート選手にとっては、年間の予選会の中、様々な天候の中で戦ってきた経験の中では、問題があるほどの風でもなかったようです。ノミネート選手入場から開会式を迎え、シニアの部年間チャンピオン安田伸之選手による選手宣誓により開幕。ジャパンファイナル第1日目は、ユースオープン部の部・シニアドッグの部・ペアの部の3種目が日本一を決定しました。

■ユースオープン部の部

全国各地から、団体戦並びに個人戦の栄冠を手にするためにノミネートされた137チーム。前年度の団体戦優勝を飾った大阪IIチームから返還を受けた団体戦優勝旗が見守る元で予選が繰り広げられました。

予選2ラウンド上位7チームが決勝進出の条件は例年通り。137分の一を目指す個人戦は、自己との戦いでありながら、そのポイントは団体戦の結果へと反映されます。

予選2ラウンドを終え、2008年度の年間予選のトップ3に入ったチームも顔をそろえる決勝ラウンド、その中で圧倒的な強さで栄冠を勝ち取ったのは、兵庫県チームの一角である八幡誠&DIESEL(ストロングアイ)チームでした。第2位

は、榊原龍也 & 珊瑚(ラブラドル)チーム。

第3位は、宮迫裕二 & RALPH(ボーダーコリー)チームでした。



団体戦の部では、5チームの予選ラウンドにおける平均成績が高いチームにより優勝が決定します。

平均成績38.8ポイントと高い成績で優勝に輝いたのは、長屋隆二 & Jake(ウィペット)チーム、深谷里美 & 555(ウィペット)チーム、新津芳博 & Belleチーム、勝又明寿 & MAYA(ボーダー

■シニアドッグの部

2008年度のシニアドッグ大会は、レベルの高い予選が繰り広げられる年でもありました。ジャパンファイナルにおいてもシニアドッグとは思えないハイスコアとなり、決勝5チームの進出ポイントも高いポイントとなりました。

結果、シニアドッグ日本一に輝いたのは、予選+決勝のワンゲームトータル95ポイントフィニッシュした、シニアドッグの部年間チャンピオンの安田伸之&ガーフィー（ボーダーコリー）チームがポールトゥウィン優勝となりました。第2位に宮迫裕二&IVY（ボーダーコリー）チーム。第3位に井上靖章&CAP（Aシェパード）チームとなりました。



■ペアの部

ペアの部の日本一を決定するのは、ノミネートされた20チームによる、予選90秒1ラウンドを行い、決勝は3チームに絞り込む激戦となります。

決勝進出へのハードルは、40ポイント前後が予測されたとおりの展開。そして決勝ラウンドでも劇的な逆転が待ちました。予選3位からの古野深太郎・上田彰&schumacher（ボーダーコリー）ペアが見事に優勝。2位は松尾直美・松尾至&NOVA（ボーダーコリー）チーム。3位には深谷里美・深谷浩之&TIGA（ウィペット）チームとなりました。

DAY-2 2007.11.2(日)

- 晴、弱風時々強風
- レディースチャンピオンシップ・スモールドッグチャンピオンシップ
こどもの部・記念大会

ジャパンファイナル第2日目は、レディースチャンピオンシップ、スモールドッグチャンピオンシップ・こどもの部の日本一決定戦。天候は、初日に続き好天に恵まれました。

■レディースチャンピオンシップ

熱き女性の戦いレディースチャンピオンシップが、今年もノミネートされた55チームにより繰り広げられました。



2001年から始まったレディースカテゴリーは今大会で8回目となりました。予選第1ラウンドは様子を伺うかのように各チーム 確実にポイントを取る展開となり、20ポイント台が多数を占め、予選第2ラウンドで勝負を決める。

正にほとんどのチームが決勝のステージへとチャンスがある、白熱した争いとなりました。決勝へ駒を進めたのは9チーム。9ポイント差の中での決勝がスタートします。

一歩抜き出たのは、本日ハイスコアの35ポイントを出した予選4位の谷越雪絵&環菜（ボーダーコリー）チーム。トータル92ポイントで、上位3チームの結果を待ちます。

続いて登場した今シーズンランキング第2位の須貝ひとみ&Lien（ボーダーコリー）チーム。昨年の準優勝チームが逆転優勝を狙います。先程の谷越チームのポイントを上回る36ポイントを出し、トータル94ポイントで更に2チームの結果を待ちます。

予選2位でスタートした渋谷典代&疾風（ボーダーコリー）

チームは、6投パーフェクトキャッチを達成し32ポイントの追加。トータル91ポイントと惜しくも涙を吞む。

予選トップのレディースランキング第1位の長谷川政代&ビーチ♪（ボーダーコリー）チームが入場。最終の1分間がスタートしました。決勝ラウンドで34ポイント獲得が優勝への絶対条件となる第1投は……、無念のノーキャッチ。

しかし最後まで諦めないランクトップのゲームを披露し、ロング2本・ミドル2本と4投キャッチと大健闘でのフィニッシュ。28ポイント追加のトータル89ポイントと一歩及びましたが、見ごたえのある決勝ラウンドでした。

結果は 昨年の悔しさを見事に晴らしての須貝ひとみ&Lien（ボーダーコリー）チームに輝きました。



■スモールドッグチャンピオンシップ

小型犬のみが出場可能なカテゴリーがスモールドッグチャンピオンシップです。今年は34チームが出場し予選ラウンドが始まりました。

小型犬にとってはキャッチしやすい条件が整った予選第1ラウンド。しかし思ったよりポイントが伸びて行かない。34チーム中20ポイント台を獲得したチームは僅か8チーム。最高ポイントでも24ポイントと、大混戦の中、予選第2ラウンドへと突入。10ポイント台のチームも充分決勝を伺える展開となりました。

決勝へ進んだ5チームでのポイント差は、なんと3ポイント。この激戦に勝負を賭けるファイナリストは、初出場となる3チーム VS ベテラン2チームの図式となりました。

初出場組から、奥田なぎさ&沙羅（ミックス）チーム。平岡喜代&トム・クールビズ（ビーグル）チーム。土田雅志&栗の介（ウェルシュコーギー）チーム。

ベテラン組から、深見秀隆&ポポ（ウェルシュコーギー）チーム。三崎彰午&ミュウ（ウェルシュコーギー）チームと、新人の勢いか、熟練の技か……、そんな事を思った方もきっと多くいた事でしょう。

いよいよ決勝がスタート。

奥田チームは決勝のプレッシャーなのかポイントが伸びず1キャッチの6ポイントと精彩を欠く結果となる。

続いての平岡チームは1ミスはあったものの3キャッチの18ポイント追加で結果を待ちます。

深見チームも1ミスあり3キャッチの18ポイントとトータル59ポイントで暫定首位に立つ。



予選2位の三崎チームは、ロングスローを1本交え、パーフェクトキャッチの26ポイントと完璧に仕上げ、フィニッシュ。トータル67ポイントで最終の土田チームの結果を待つかたちに…。

予選での1ポイント差を逃げ切るには決勝ラウンド26ポイントと、三崎チームが先程出したポイントが必要となる土田チームはミドル&ロング5投も余裕で入るチームだ。しかし、5投成功が優勝するための条件となった…。

そして、結果は惜しくも3キャッチの14ポイント。

結果、三崎彰午&ミュウ（ウェルシュコーギー）チームが4回目のファイナル出場で悲願の初優勝を成し遂げました。

涙のウイニングランが印象に残るスモールドッグチャンピオンシップでした。



■こどもの部

年々こども？とは思えぬほどスローイングが大人と変わらず、応援している人たちもびっくりする、こどもの部チャンピオンシップ。低・高学年の部に分かれ各10チームずつのエントリーの中から優勝が決まります。

低学年の部で決勝へ進んだ3チームは、昨年も出場していた嶋田歩優&MEL（NZハンタウェイ）チームと古野溪太郎&SARAH（ボーダーコリー）チーム。そして昨年のチャンピオン東出実久&ブラッド（ボーダーコリー）チームの強豪同志の争いとなりました。

高学年の部で決勝へ進んだ3チームは、福本巴亜人がミニョン（ボーダーコリー）とpetitange（ボーダーコリー）のダブルでの決勝枠をつかみました。対戦相手は初出場の榊原虎也&珊瑚（ラブラドル）チームとなりました。

低学年・高学年共に3チーム内でのポイント差は4ポイントと息を呑む決勝ラウンドとなりました。

こども同士の大人顔負けの真剣勝負。全チーム思い切った伸び伸びプレーでギャラリーを魅了し大活躍でした。

僅差で低学年の部優勝は古野溪太郎&SARAH（ボーダーコリー）チーム。高学年の部優勝は榊原虎也&珊瑚（ラブラドル）チーム。共に初優勝という結果でした。



■ジャパンファイナル2008記念大会

恒例の記念大会は、本年度も160チームを集め行われました。第1ステージの60秒1ラウンドの得点上位24チームが次のトーナメントステージへ。160分の24という狭き門への挑戦となります。

一発勝負という緊迫感からか、前半30ポイントオーバーを出すチームは思いのほか少なく、20ポイント代後半、27～8ポイントが次ステージのボーダーラインという状況が続きました。

トーナメントステージに入ると、進出チームの中でも有力視されたチームが敗退するなど、波乱含みの展開で、決勝3チームには、勝又明寿&MARO（ボーダーコリー）チーム、小峰泉&あどるふ（ボーダーコリー）チーム、福尾光一&BRUCE（ボーダーコリー）チームが進出。

同ポイント再戦もありましたが、記念大会160チームの頂点に立ったのは、勝又明寿&MAROチームでした。以下、2位には福尾光一&BRUCEチーム。3位には小峰泉&あどるふチームという結果となりました。

DAY-3 2007.11.3(月・祝)

- 曇、弱風時々強風
- グランドチャンピオンシップ
フリーフライトチャンピオンシップ

ジャパンファイナル第3日目は、グランドチャンピオンシップ、フリーフライトチャンピオンシップの日本一決定戦。グランドチャンピオンシップは、ディスタンスゲームの最高峰、フリスビードッグ日本一を決める舞台となります。開会式時の天候は曇り、ひんやりと引き締まった冷たい空気が選手の緊張感を更に高めます。その中で、フリスビードッグ殿堂入り認定を受けた7チームの認定式も行われました。

■グランドチャンピオンシップ

全国の厳しい予選会の中で、それぞれポイントを積み重ねてきたトップ68チームが集結し行われるグランドチャンピオンシップ。2008年度の日本一は誰になるかは、終わってみなければ予想も出来ないのは毎回のことです。

風は今までにないほどの静穏な状況。時折、やや強い風が吹く場面も見られましたが、各チーム好条件のもとで、一日勝負のラウンドに挑みました。

第1・第2ラウンドの合計ポイントで決勝進出10チームの座を勝ち取りますが、1ラウンド平均ポイント30ポイント以上は必須となるグランドチャンピオンシップ。予選を終えると、やはり決勝への道は64ポイント以上となりました。



決勝へはボーダーラインに並んだチームを加え11チーム。第2ラウンド40ポイントを出して、猛烈な追い上げをした唯一のラブラドル、荻野隆行&くららチーム以外は、全てボーダーコリーという面々での決勝ラウンド。



決勝ラウンドでは、予選では見せなかったまさかの一投ミスに順位を落とす場面も見られる中で、完全なプレーを見せた西山哲也&サリー（ボーダーコリー）チームが見事に日本一の栄冠を手に入れました。

しかしながら、第2位との差は僅かに1ポイント差。さらに1ポイント差の第3位は決定戦にもつれこみ、第5～6位は優勝ポイントとの差は3ポイントと、まさに激戦。

第2位には田口佳奈&SENNA（ボーダーコリー）チーム。第3位には決定戦により昨年度のグランドチャンピオン高橋毅一&vogue（ボーダーコリー）チームでした。



■フリーフライトチャンピオンシップ

「スピード」というテーマを選手自ら課しているのかと思われるほど、スピーディーな演技が見られた2008年度予選会を勝ち取ってきたノミネート選手たち。



その差を決定的なものとするのは、ジャパンファイナルの大舞台の中での演技となります。一つ一つのトリックに難易度・完成度を加えたテクニカルスキルは、どの選手も均衡した戦い。

前年度までは、このテクニカルスキルが勝敗を決めてきた重要な部分であったが、本年度、最後の決め手となったのはリーピングという部分でした。

他のチームと大きく溝を開けようと、大技に挑み体を使ったボルト系の技を多用するチームに落とし穴があったのかもしれませんが。

結果は、総合的に圧倒的な素晴らしい演技で2つのステージをおこなった、友広祐也&JET（ボーダーコリー）チームが、通算2回目のフリーフライトチャンピオンシップ日本一に輝きました。



第2位は、スピードとリーピングで勝った澤幹子&綺羅（ボーダーコリー）チーム。第3位は、繊細な中にも大きな技と優雅な演技を見せた山下靖&Dream（ラブラドル）チームでした。



ファイナル参戦記



グランドチャンピオンシップ

西山哲也 & サリー

10数年前テレビでフリスビードッグを見て、「どうしてもやってみない!」と思ってから、ピーター氏の本や雑誌からJFAを探し、フリスビー自体も手に入ったのは随分後でした。

当時は新潟と東京方面でしか大会はなく、どうにか関西で開催して欲しいと、地元の町イベントに協力することを前提に交渉し、今では許可が下りない場所で開催しました。その後は二ヶ月に一回程度、関西で開催されるようになりました。

当時私の犬はほとんどフリスビーをキャッチできませんでした。投げも下手だし、当然投げ練などするはずもなく、投げ方さえ教えてもらえる方法も無く、「なんとかなる」気分でした。

そういえば、自分の順番が来てコートに入るとメインジャッジ(代表)相手に一投練習していました。テントなどだれも張っていません、たしかパラソルかタープ程度。そんなのんびりした雰囲気から今の様子は到底想像できないほど会員も増え、犬・プレイヤー共随分レベルアップしてます。

入会後4～5年は隣県程度の参加、当然入賞などほど遠く、毎回落ち込んで帰ってましたが、徐々に入賞出来るようになり、少しずつ楽しめるようになってきました

そんな折、ハンターとサリーが我が家にやって来た!

こんなに凄い能力を持った犬がいるとは…。

ようやく私も影響され、投げ練にも力が入り、時には遠征もするようになり少しずつ彼らに育てられました。

サリーと言えば「祐真&サリー」ですが、本来は妻「いづみ&サリー」がメインパートナー。'05レディースチャンピオンシップで7位入賞してます。

祐真とは毎年少ない試合数でグラチャン常連。今年は私が横取りしたようですが、実は'06ペア大会チャンピオンです。

以前から1シーズンくらいは、「公式戦出さして～～」と

訴えていたのが、ようやく願いが叶い、タイミングも合ってきたので貸していただきました…。

春頃には第2シードでファイナル目指そうと決めました。交配の予定もあったので、シードもぎりぎりかな…。

そして6月に無事6頭出産。子育ても完璧にこなし、2ヶ月で体調も整えシーズン後半も産後を思わせない走りを見せてくれました。

チャレンジカップ西日本で優勝した藤原スバルチームも私と練習してきた仲間なので、今年は良い風が吹いている予感!

そして、最後の播磨シリーズ戦は祐真と二人で予選1～3位、その前の奈良は初めて一人で二頭連れて参加、妻の「ワンツを取ってね～」って…、なんとも軽い一言で送りだされたけど…。

その言葉が利いたのか、本当に1&2位通過!

この2大会で、今年のファイナルはハンターかサリーどちらから必ず決勝に残れると確信しました。

ファイナル当日、「祐真が残っても譲らんぞ!」…こんな気合が入り過ぎて、1ラウンド28point。ヤバ～。

諦めかけていたが、妻と娘に励まされ、2ラウンド5×8p狙いで捲くる予定…。が、ここでも距離が伸びずに36p、TOTAL64pとビミョーなポイント。

当日は、ほとんど風も無く曇っていたので、まさか64pで決勝に残れるとは…。

決勝は11人中9位、しかも4p差。「上手く行けば、捲かれるかも…。」

'06茨城FINALの決勝ポールポジションの事を思ったらなんとも気楽な位置♪

最初のvogueチームが36pだったので、ここでも、40p狙い!「今回はMCのコメントは聞かへんぞ～」と思いつつも38p…、またまたビミョーなポイント。

その後、前グラチャン、前シリチャン、ランキング上位チームがぞくぞくと…。

途方もなく長く感じた結果待ちでした。

ついに家族の祈りも通じたのか、9位からの捲くりで優勝することができました。

そしてようやく、兵庫にグランドチャンピオン犬“サリー”誕生!! 茨城FINALでハンターの忘れ物を持ち帰ってくれた“マジカルサリー”。

ありがとう、サリー。二人そろって我が家に来てくれた事を心から感謝します。

このファイナルは自分にとって随分“ツキ”を感じられました。細かな事なので、記しませんが、本当に勉強させて頂きました。そんな思いだったので、涙の無いウイニングランだったと思います。

来シーズンはGRAND CHAMPIONと言うプレッシャーを存分に味わい。さらに次に繋げていければと思います。

サリーとは今期だけの予定でしたが、'09もハンター&サリー、Wチームで参戦します!

青田家・山口家はじめ応援していただいた皆様、クラブ三重、各クラブ、各支部、本部の皆様、本当に有難う御座いました。





グランドチャンピオンシップ

田口佳奈 & SENNA

ジャパンファイナル2008お疲れ様でした。

私が今回のファイナルへ向けて掲げたテーマ『8年間の集大成』。8年間の思い全てを、ファイナルの1分1分に込めました。

LUKEとは残念ながら決勝には残れませんでした。SENNAもLUKEも最高のプレーを見せてくれました。特にSENNAが決勝で見せてくれた追い込みは最高でした。SENNAには感謝の気持ちでいっぱいです。

結果は2位でしたが、今までで一番感動した、最高の1分間を過ごせました。

SENNAありがとう。



グランドチャンピオンシップ

高橋毅一 & vogue

今シーズンは、グラチャン見習い中として頑張った1年間でした。

ファイナル2ヶ月前に大失速。正直、ファイナルに行きたくないと思ってました。

行く予定のなかった最終戦、妻から行ってキッカケを掴んで来いと言われて行った久居大会。

1日目はまだ調子もどらず、2日目から参戦の福本さんに的確なアドバイス&励ましをうけ、何とか調子も気持ちも上向き、決勝まで進むことができました。

ファイナルR前は、プレッシャーで押し潰されそうでしたが、1ミスはあったものの、36pでなんとか上位につけられ、絶対に決勝に行こうと誓った2Rでは、苦手な右風で攻めきれませんでしたが、目標であった決勝ラウンドに駒を進めることができました。

決勝では、程よい緊張感の中、vogueと楽しくプレーすることができました。

3ラウンド合計100pでEXラウンド突入。相手はお互いを知り尽くし、良きライバルでもある谷越 環菜チーム。

同じ6投チームでもあるし、絶対に負けられないと臨んだEXラウンドでした。

2008年シーズンを終え、改めて振り返ると…、「一年間重圧の中よく頑張ってくれたなー。グラチャン見習い中の見習いを取ってもいいかな？」なんて思いながら三重を後にしました。(笑)

来シーズンはチャレンジャーとして、グランドチャンピオンをvogue & Irisと目指したいです。

最後になりましたが、一年間我がチームを見守り、応援してくださった皆様、スタッフの皆様ありがとうございました。



ファイナル参戦記



フリーフライトチャンピオンシップ

友広裕也 & JET

今年のファイナルの場所は、2004年のファイナルと同じ伊賀上野市。2004年の時は、レディースで5位、ユース団体が優勝と験のいい地である。

北海道からだと、いつも交通手段で悩むが、今年はフリーフライトだけのノミネートと仕事上、飛行機での移動となった。

JETも、もう遠征慣れしていると思っていたが、大会当日の朝、体調を崩してしまった。

1R目、JETの体調が気掛かりだったが、いつものプレーをしようと心掛けた。プレーが始まってJETは元気がない分、落ち着いてキャッチを続けてくれた。

あまりにもキャッチ率が良いので、途中遊びで必要のないルーティンも入れ、最後はJETもトコトコ歩いていたが、1ミス？ぐらいで終了！

ポイントはパーソナルベストの92.9ポイント！ここでトップに立った。

2R目、1R目のポイントは考えないで、自分のプレーを心掛けた。

ところが後ろ向きのサイドアームスローで痛恨の場外！これでJFA北海道大会から3回連続の場外！しかも同じスロー！プレー前から意識していたのに自分の学習のなさにガッカリ…。しかしプレー中なので気持ちを切換えて、プレーに集中した。

全体的には、いつものプレーよりキャッチ率も悪く、自分としては納得のいくプレーではなかったけれど、頑張ってくれたJETに感謝の気持ちでいっぱいでした。

結果は、優勝！ 2年前の優勝よりさらに嬉しかった！！

今年は、JETがすぐ息切れするなどで検査もしたけれど、これがJETだ！と、全てを受け止めてやってきました。

その結果が成績にも出て最高の年でした！

全国の応援して頂いた皆さん、ありがとうございました。来年もお会いしましょう！



フリーフライトチャンピオンシップ

澤 幹子 & 綺羅

萌、やったよ。萌の為に綺羅と頑張ったよ……。

早いものでフリスビーを始めてもう6年になります。

「やるなら、フリーフライト！」と決めて、先住犬の萌（フラットコート・レトリバー）と手探りで大会に参戦し始めた2004年のシーズンでした。北海道にも行き頑張ったけれど、ファイナルの伊賀上野には行くことは出来ませんでした。

会場で、間さんにタキオンパパとキアラママの子供の話を頂き、その次の年に綺羅が我が家にやって来ました。萌達とよく遊んで、綺羅はとても良い子に育ちました。

綺羅とフリーをやる上で萌と苦労したこと、教え方、色々な事が役に立ちました。

昨年のファイナルではいい成績を残せなかったのが、新しい構成で臨もうとした今シーズン矢先、萌が二月に急逝。まだ五歳でした。

もうフリスビーを止めよう、そう思って練習するのも、大会に参戦するのも止めました。

何ヶ月か過ぎ、ある時和歌山の大会に友達に会う為に参加しました。

ずっと練習すらしていなかったにも関わらず、綺羅が楽しそうに走っているのを見て、「もう一度、今度は、今年は萌の為に頑張ってみよう。」と綺羅に話をしてもう一度練習を再開しました。

綺羅も私の気持ちに伝えてくれて、熊本の最終戦でシリーズチャンプになる事が出来ました。

そして2週明けのジャパンファイナル、「綺羅、萌に一番良い所を見せよう！」と話をし、コートに入りました。

規定は緊張のせいで、トリックスローのミスが重なり、5位でした。

自由では、自分らしく一投一投を大事に、そして綺羅がカッコよく見えるようにやること、それだけでした。最後のドッグキャッチが決まった時、頑張ってくれた綺羅を抱きしめて降ろす事が出来ませんでした。

結果は準優勝でした。

涙が止まりませんでした。

萌と行けなかった伊賀上野で、綺羅と良い結果を残せた事、本当に嬉しかったです。

最後に、今まで澤萌&綺羅チームをいつも応援して頂いていた方々、スタッフの皆様、そして家族。本当に有難うございます。

綺羅ありがとう。

そして萌。

綺羅とここまで頑張れたのも、萌が我が家にやって来てくれたからです。

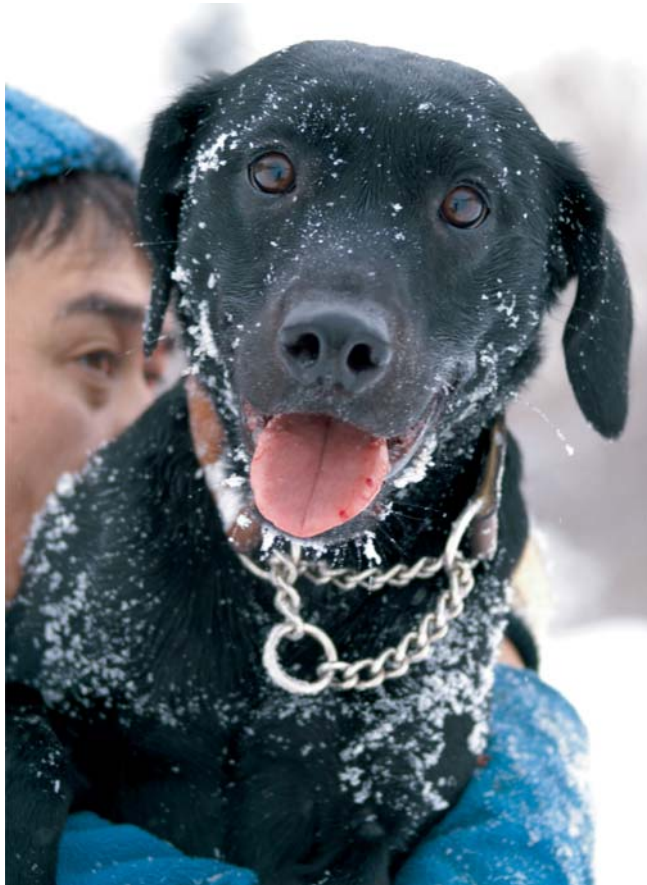
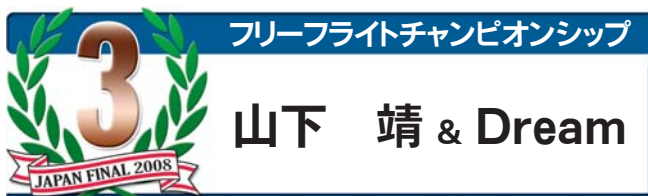
これから先また綺羅達と頑張るのも、萌の為に、萌と一緒に築いた日々、それを基盤として頑張ります。

今シーズンも頑張りますので宜しくお願いします。

その結果が成績にも出て最高の年でした！

全国の応援して頂いた皆さん、ありがとうございました。

来年もお会いしましょう！



2008年はD r e a mとのコンビでJ F Aに参戦して2シーズン目。無我夢中でプレーしていた昨年とは違い試行錯誤の1年でした。

シーズン序盤は人間の欲が出てしまい、いろいろな事を試すあまりすべてが中途半端になり、D r e a mとの呼吸が合わず新しいトリックも未完成で2分間のルーティーンを組むことさえ出来ませんでした。

もちろん大会でも思うようなプレーが出来ず、得点も伸びませんでした。私自身の気持ちも今一つ盛り上がりずスランプが続きました。一時はファイナル出場もあきらめかけていました。そんな中「一緒にジャパンファイナルに行こう！」とたくさんの方に声をかけていただき何とか気持ちを切らさずにファイナル権を獲得することができました。

ファイナルではD r e a mを信じ、出来ることを確実に、シンプルにプレーすることだけを考えました。

結果は3位。

順位は昨年と同じでしたが苦労したシーズンだっただけに嬉しい表彰台となりました。

今回は先住犬のクローゼがユースオープンに出場したこともあり、記念大会、フリーフライトチャンピオンシップと3日間にわたりジャパンファイナルの雰囲気を楽しめることが出来、非常に思い出深い遠征となりました。

最後に、ジャパンファイナル2008参戦にあたりお世話になった皆様、ありがとうございました。

ファイナル参戦記



レディースチャンピオンシップ

須貝ひとみ & Lien

Lienとは今年で2度目のファイナル。今年のファイナルは「絶対決勝に残りたい!」という強い思いがありました。

思い起こせば昨年のファイナルは複雑な思いの残るファイナルでした。その年Lienとはファイナル初出場にて幸運にも準優勝という快挙を成し遂げる事が出来ました。

しかしながら優勝された福本紗良さん&ミニョンチームとは20pもの大差。その実力の差は誰の目から見ても明らかでした。

当時公式参戦して間もなかった私達チームは、ファイナルの決勝という大舞台で戦うにはあまりにも経験不足であり、未熟だったのです。

「来年こそこの舞台で、これぞファイナリスト!というプレーがしたい!」その思いで1年間頑張ってきたように思います。

そして迎えた2008ファイナル。決勝R、コートサイドで出番を待つ間、不思議と気負うこともなく、割と平常心でいられたのは、やはりパートナーであるLienに対する厚い信頼があったからだと思います。すでにいつもの様に獲物を仕留めるがごとく、前を走る犬に睨みをきかせているLienを見て、「いつものLienだ、OK! 大丈夫。」と自信を持ってコートに入る事が出来ました。

決勝Rでのプレーは皆さん本当に素晴らしかった!これぞファイナルの決勝!といったハイレベルな戦いだったと思います。

そしてたくさんの方々からとても嬉しい言葉をかけていただきました。「レディースの決勝、見応えがあったね!」「楽しませてもらったよ!」など…。去年出来なかった、皆さんに楽しんでもらえる様なプレーが出来て本当に嬉しかったです。1年間頑張ってきて本当に良かった、と思いました。

シーズン中、プレッシャーに押しつぶされそうになりながらもこうやって頑張ってきたのは、数々のアドバイスや暖かい励ましをくださった方々のお陰と、深く感謝しています。本当にありがとうございました。

そして最後に…親愛なるパートナー、タフィー、Lien、よく頑張ってくれたね、あなた達のお陰で、こんなに素晴らしい体験をさせてもらえました。本当に本当にありがとう!



レディースチャンピオンシップ

谷越雪絵 & 環菜



環菜を我が家に迎え入れて、ちょうど1歳になった2月の筑波が私と環菜のデビュー戦でした。

生まれ持った運動能力で、スピード・キャッチセンスは素晴らしく、何より若いのに落ち着きあるのが持ち味でした。

練習嫌いな私。だけど大会は大好きな私。あっちゃこっちゃんに飛んでいくディスクを環菜はいつも冷静にキャッチしてくれて助けてくれていました。

我が家には先住犬のmodernがいて、以前からレディースに出ていましたが、夢にまで見ていた2頭出しも実現することが出来ました。

環菜とmodern。スタイルが違う2頭。環菜のキャッチに頼りすぎ、modernに対するスローが出来なくなって悩んだ時期もありました。

2頭で出る難しさも勉強しました。

終盤戦、手元でディスクを離さなくなってしまうようになって、残り15秒あっても投げられないことが何度も続きホント悩みました。

旦那の時にはすんなり離す。けど私の時には離さない。もう大会に出るのも怖くなって、嫌になった時期もありました。

でもそこには環菜との信頼関係に問題があることに気が付き、ファイナル前2ヶ月くらいは、まずは信頼関係を築くことを中心に頑張ってきました。

不安はあったものの、ファイナルでは環菜を信じて思い切って投げよう!信じよう!そう心に決め、見事準優勝することが出来ました。

modernとだけやっていた頃には気づけなかった事が、環菜が我が家に来ってくれた事によって、ホント一杯の事を教えてもらいました。

犬と人が共に楽しむドッグスポーツ。そこに一番大切なのは愛情と信頼。

それを教えてくれた環菜ありがとう~!

この競技に参加するきっかけを作ってくれたmodernありがとう~!

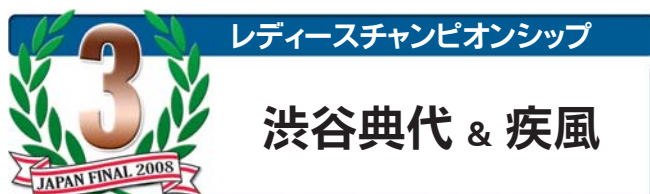
ディスクはしないけど、いつも応援してくれているBLUE & blueありがとう~!

そしていつも楽しく大会に参加出来ているのも、会場で逢える皆様が居るからです！ ありがとうございます！

この名誉ある大会での環菜との準優勝！そこには環菜を我が家に授けてくれた杉本家&グレース母さん、本当に感謝しています。

この場をお借りしてお礼申し上げます。

2009年もう～～～っばい参加します！会場で逢う皆さん、どうぞヨロシクお願いします。



レディースチャンピオンシップ

渋谷典代 & 疾風

「お願いね。疾風の力無しでは勝てないからね。本当にお願いね。」

ファイナルの決勝ラウンドのプレー開始前、いつものように疾風の耳元で囁きいざプレー。最後まで疾風頼みで今シーズンも幕を閉じました。

'07・'08年と続けて、まさに疾風のお陰で決勝まで行くことが出来ました。

昨年は、悔いの残る5位でしたが、今年はステップアップの3位になることが出来ました。

今期はシーズン初めに疾風が体調を崩し、大会に出ることもままなりません。また、体調が戻っても、どうしてもあんずとファイナルに行きたかったこともありなかなか疾風と出場する機会がありませんでした。

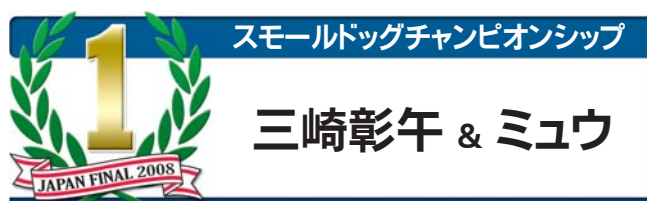
そんな限られた回数しか参戦できない中、疾風持ち前の身体能力を発揮し、頑張ってくれてファイナル権を獲得することが出来ました。

最高の舞台に立たせてくれた疾風に感謝。そして、いつも応援して力をくれた皆様に感謝。最後まで、ファイナルをかけて戦ってくれ、あきらめない力をくれたあんずに感謝。いろいろな人たちに支えられて、励ましがあったからこそこのような結果が出せたのだと思います。

本当にありがとうございました。

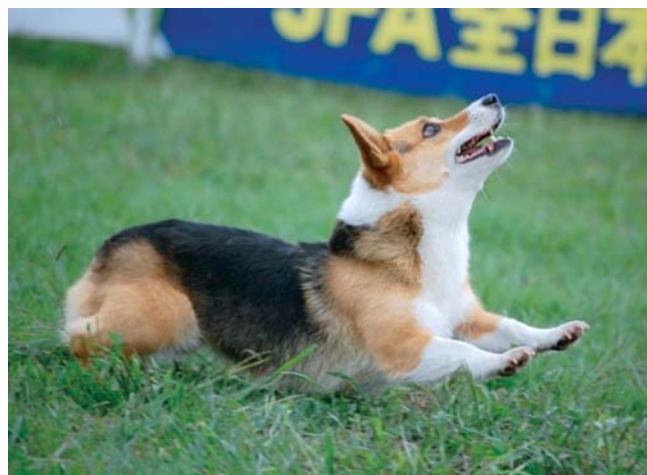
また、大会運営にあたりお世話になったスタッフの皆様一年間ありがとうございました。

最後に、どんなときも常に支え続けてくれたチーム酒豪のみんな&旦那さまに誰よりも感謝！！



スモールドッグチャンピオンシップ

三崎彰午 & ミュウ



4度目のジャパンファイナル、周りのみなさんに大変感謝するとともに、とりあえず2008年度はミュウが日本一になることができ、大変うれしく思います。

頑張ってくれてくれるミュウのために、スローイングをはじめ、試行錯誤して、いろいろやってきた事が報われ、内心ホッとした気持ちであります。

過去全てのファイナルではいつも自分が気負ってばかりでしたが、今年は何のプレッシャーもなく、今までで一番楽しくゲームができたことが、この結果につながったのだと思います。

今回たまたまですが、どのチームが日本一になってもおかしくないような力が拮抗した中で、優勝できたことを正直誇りに思います。

公式小型になって以来、スモールドッグのチーム数が増加し、それに連れてレベルも上がってきているのを感じておりますが、お互い切磋琢磨し、自分たちもレベルアップできました。

日頃いっしょにやってきたスモールドッグの仲間にも感謝するとともに、スモールドッグ界がますます盛り上がっていくことを願っております。

最後に、1年間、スタッフとしても大会運営のお手伝いをさせていただきましたが、本部スタッフ及び他のスタッフの皆様方、お疲れさま、そしてありがとうございました。

ファイナル参戦記



スモールドッグチャンピオンシップ

深見秀隆 & ポポ

ポポが初めて大会に参加したのは、2001年5月綾羽のデフォールド杯でした。当時ポポ2歳2ヵ月。

その年ジャパンファイナルの小型犬大会を目指し半年チャレンジをしましたが、ノミネートには至りませんでした。

その後、プレー中3度に渡り前足の鬼爪をケガし、予選の参加ができない時期が続きました。鬼爪の切除手術に踏み切り、ケガの心配がなくなり、晴れて2004年ジャパンファイナル伊賀上野大会に5歳で出場することができました。3年間苦勞したこともあり、とても喜んだことが思い出されます。

その後ジャパンファイナルは、2005年の公式小型、2006年ユースオープンと出場させていただき、そして今年、ジャパンファイナル初出場の思い出の地である三重伊賀での大会に出場できると共に、スモールドッグチャンピオンシップで準優勝することができました。

これまでのジャパンファイナルは、「お祭り騒ぎだー」とはしゃぎすぎて撃沈（フットフォルト2回伊賀上野）、「決勝に上がるぞー」と気合いが入りすぎて撃沈（名古屋）と良いところがありませんでした。

今年は、リラックスしていた？この点は、記憶にありませんが、印象深かったのが2Rでした。

1Rのポイントが17Pとあまり高くなかったことや、仲間の♪ポーポポポポ、ポーポー♪の声援？もあり極度の気合いも入らずコートに立て、オールキャッチ、ポポの好きな右流れも助け24P、とても印象深いラウンドになりました。

決勝が決まった瞬間から「大丈夫かな～こんな大舞台で投げられるかな～」と緊張した面持ちでいるところ、みんなに声をかけていただき決勝も無事投げることができました。

そして一緒に喜んでくれた仲間にも囲まれ、幸せな気持ちでいっぱいでした。また、これまで悩みや楽しみを共にしてくれたみんな～ありがとう～感謝！感謝！

さらに、チームポポとしてポポの健康を考えケアに努めてくれたママ、いつも楽しく大会についてきてくれたブレッド、9歳にも関わらずいつも元気でパパと楽しくプレーしてくれたポポ、みんなで勝ち取った結果だと思っています。

これからもポポと無理なくプレーしていきたいと思いますので、来年度もよろしくお願いします。



スモールドッグチャンピオンシップ

平岡喜代 &
トム・クールビズ



うちに来る前、究極の飢餓に苦しんだ過去をもつトム。周りの事に何も興味を示さず…とにかく食べ物への執着が酷く何でも口にしてしまっていた。

当時つきっきりで寄り添いフードは一粒ずつ与え時間をかけて食事させ少しずつ体力と人間への信頼を回復させていった。

遊ぶことも知らなかったトムだったが次第に元気になりもしかしたらフリスビーもできるんじゃないかと思うようになった。そして先住犬のモモコがフリスビーを始めた頃に出会った本のタイトルを思い出した。

『どんな犬もフリスビードッグになれる』

このタイトルを励みに何もできなかった柴犬のモモコと私たちも何とかフリスビーを楽しむことができるようになった。

どんどん成長するワンコたち！私たちはモモコとトムの成長に追いついていけるようにモモコとトムが楽しいと思うようなスローが投げられるように毎日夫婦でフリスビーを投げ合い練習をした。

トムもしだいにフリスビーが楽しいと思ってくれるようになったが大会では小麦粉ラインを食べてしまうことが長く続いた。トムにとって小麦粉ラインは食べ物だった。でもフリスビーはそんなトムをも成長させてくれた。

食べ物を食べたい欲求より私とフリスビーを楽しむことを選んでくれた瞬間を重ねるごとにトムとの絆も深まっていった。トムとフリスビーを通じて会話をしているようで楽しくて仕方なかった。

トムは『信じること』と『諦めないこと』を教えてくれた。

そしてそんな私たちがあるのは応援してくださった沢山の皆様のお陰です。スタッフの皆様、クラブ奈良の皆様、応援してくださった多くの皆様、本当にありがとうございました。

そしてフリスビーの楽しさを最初に教えてくれたモモコありがとう。いつも私とトムを信じ励まし続けてくれた夫マー君ありがとう！

2009年からトム・クールビズは「十夢(トム)」として諦めない気持ちを忘れずに十の夢にチャレンジし続けていきたいと思っています。



ユースオープン(団体)の部

東海 I

長屋隆司 & JAKE
深谷里美 & 555
新津芳博 & Belle
勝又明寿 & MAYA
佐藤 譲 & 天

長屋隆司 & JAKE

いろんな出会いがあり、ユースのファイナルまで来ることが出来ました。

友達がフリスビードッグを教えてくれて、先住犬のハリーが先にフリスビーを始めてジェイクはそれを見て覚えていきました。

ハリーに対する嫉妬心？からかジェイクのフリスビーのセンスが磨かれたようです。

地元のフリスビードッグのクラブで偉大な先輩たちに学び、昨年の9月に初めてビギナー大会に参戦、その後ジェイクの活躍で今年のジャパンファイナルにノミネートされました。出場できたことだけでも満足でしたが、東海Iチームのみなさんのおかげで団体の部で優勝することができて最高のジャパンファイナルになりました。

チームの皆様、応援してくださった皆様、色々指導、アドバイスをして下さい偉大な先輩方ありがとうございました。

皆様との出会いがあったからこそ、今回のジャパンファイナルがあったと思ってます。

これからも、ジェイクとハリーとフリスビーを頑張っています！



深谷里美 & 555

東海Iの皆様のお役に引っ張ってしまいました。ごめんなさいm(_ _)m
皆様の好成績のおかげで優勝です！！

ありがとうございました。

今シーズンは、ビギナーから始め、チャレンジ、ユース、レディースと色々参戦し、楽しいシーズンでした。

55が一生涯懸命走ってくれるよ様になったにも関わらず、スローが安定せず、迷惑をかけてばかりでした。

ふぁいちゃん、これからもよろしくお願いします。

新津芳博 & Belle

シーズン始めの目標はペア大会でファイナルノミネートが目標だったけど、入賞はするけどポイントが伸びずでシーズン後半に諦めてユースに変更して、5試合だけ出て200ポイントオーバーを目標に参加。

シーズン前半に1試合だけ出ていたので奈良大会2試合と熊谷大会の2試合で結果を出すために奈良大会では各ラウンド20ポ



イント狙いでキャッチ出来るように優しいスローでポイントを取ったけどBelleには楽しくない距離のスローらしくフリスビーに酷い噛み痕があった。

やっぱりポイントよりもBelleが楽しくを考えて迎えた熊谷大会ではロング狙いで、Belleも楽しく走って2日間で99ポイントと頑張ってくれて、予定どおりと言うよりも、出来過ぎくらいで5試合の合計216ポイント。

しかしこのポイントでも静岡県では6位と微妙なポジション、東海地区3県統合で、何とか静岡と

岐阜の混成チームにノミネートされて迎えたファイナル。

半分お祭り気分で居たため自分の出番の確認もしないで居たため練習時間も忘れて1ラウンドはぶっつけ本番、もちろんBelleが喜ぶロング狙いでしたが2キャッチと何時もの出来で迎えた2ラウンドは向い風の中、ロングに3本決まってBelleもご機嫌でポイントもほぼ目標を達成して後は上位ランカーの結果待ち。

結局、誰も決勝には残れなかったため諦めていた団体成績の発表で『優勝は東海I』のコールで思わず飛び跳ねてしまった。

朝のメダル授与式の時にスタッフの方に『おお！このチームは優勝しそうだね〜』って言ってくれた様に優勝できて、昨年の個人と今年の団体戦と2年続けて表彰台に乗れて良い思い出になりました。

一緒にチームを組んだ皆さんそして運営スタッフの皆さん有難うございました。新しいシーズンも楽しくを忘れない様に参加しますので宜しくお願いします。

佐藤譲 & 天

私にとって、天(テン)は3頭目のパートナーになります。

一番最初はG.Rの欄(ラン・現在6歳)キャッチが下手で見失い・弾くけど、何故か私も欄も楽しくプレーができます。

欄が1歳の時、F.C.Rの雅(ミヤビ)を迎え、3年前、雅が2歳の時、ユースで初めてのFINALに参加しました。

雅が4歳の誕生日を迎える目前、先天性の腎臓病の悪化で、虹の橋へと…。いつも私達の側にいる事が大好きな子で、欄と一緒に走り、いつも一緒に…。私自身"大会に参加する気持ちには、もうなれないんじゃないか?"と。

そんな時、縁あって天を迎え、またフリスビーを投げる日が始まりました。欄のようにドロップは上手にできないし、雅のようにキャッチ率は良くないし、何度言っても悪戯をし続ける、そんな天ですが、我が家に馴染み、欄と毎日仲良く遊ぶようになりました。

「一緒に戦ってくれるパートナーがいる」これは、失って改めて気づく事ですが、とても大切に素晴らしい事だと…私は思っております。雅の分も、欄天には長生きして貰い、元気に楽しくプレーし続けたいと思います。

最後に、元気な姿で雅が戦った最後の地はこの伊賀上野でした。この場所で、ユース団体優勝できた事は凄く嬉しく思います。

チームの皆様、応援してくれた仲間達他、本当に有難うございました。



ファイナル参戦記



ユースオープン(個人)の部

八幡 誠 & DIESEL

DIESELが家族の一員になったのは、'07ジャパンファイナルが終わったちょうど1週間後でした。子犬らしい可愛い時期なんてとくに過ぎた生後8ヶ月。

妻を初め子供達にも内緒でブリーダーさん宅から連れて帰って来ました。妻の反応はもう分かっていたので 取り合えずマイクロ達の居るわんこ部屋に隠す事に…。

このままずっと隠せる訳もなく、翌朝に妻に起こされた。(妻)『マイクロが鳴いてるみたいやけど、鳴き方が何かおかしいで…。調子悪いんちゃうの?』

(僕)『違う…。』

(妻)『違う…。って。何が?』

(僕)『……。』返す言葉なし。

こうしてDIESELとの生活がスタートしました。初め2ヶ月は妻の怒りが治まらずDIESELも私と共に出勤しました。そのせいかDIESELは私のストーカーです。

もともとブリーダーさん宅でレトリブは出来るようになっていましたが手元が非常に悪く色んな事を試すが手に持っているディスクには全く興味が無い為ほぼ手渡しは無理と思い極力足元に置かす様に…と訓練したけれどまだまだ遠い。

これからもこれが課題です!

今年でフリスビーを始めて5年目。DIESELとチームを組んで年間ランキング1位を狙って頑張ってきました。結果2位で終了。

そう簡単にはとれなかったランキング1位の座。その事があったお陰でファイナルではいつも以上に燃えました。

ファイナルでの1ラウンドは流石に緊張しましたが今年はいつになくコート内で集中出来 終わってみれば3ラウンド共パーフェクト!

DIESELにはプレー中かなり助けられ この最高の舞台上優勝をもたらしてくれた彼には心から感謝しています。



そして『ありがとう』

来シーズンからはいよいよオープンに参戦です。

周囲からの期待やプレッシャーもあると思いますが、自分達のプレーが出来るチームになりたいと思います。

最後になりましたが大会を運営して下さい本部、各支部の皆様、会場で暖かい言葉をかけて下さる皆様 本当に有難うございました。

'09も家族全員ファイナル権獲得を目標に頑張っていきたいと思います。

新シーズンも又宜しくお願いします。



ペアの部

古野溪太郎・上田 彰 & schumacher

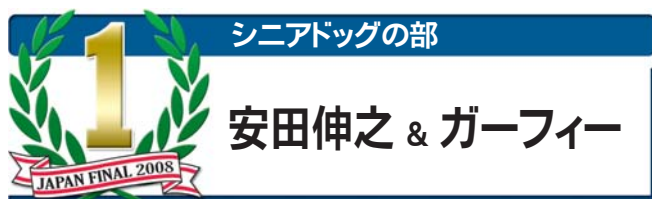
ぼくは、上田さん(サンタ父ちゃん・以下チロパパ)と今年はじめてペア大会に出ました。

なぜチロパパとペアを組んだかというと、お父さんともお母さんともペアに出たことがあったけれど全然ダメだったし、しゅ〜まが小さい時からチロパパがたくさんしつけをしてくれて、しゅ〜まもぼくもチロパパが大好きだったのでチロパパにペアをお願いしました。

いつも、ぶっつけ本番で、地区大会も8回しか出られなくて、ファイナル前は二ヶ月くらい大会に出ていなかったのでもちろん不安でした。

ファイナルの予選では、ぼくはあせってハンドリングをしてしまって、すごく失敗してしまった…と思いました。でも、ぎりぎり決勝に残れてそれだけですごくうれしかったです。





主催 日本フリスビー犬協会
賛 ニックペットケア株式会社 / ネスレピュリナペットケア株式会社
ブラックウッドジャパンコンディショニング / 有限会社神戸エ
支援 伊賀市 / 社団法人伊賀観光協会 / Discovering Th



2008年は、9歳のガーフィーに公式戦は大変だからと、クラスをシニアにしてコンビを復活させた年。

そして、年間チャンピオンとジャパンファイナルでの優勝をガーフィーと共に勝ち取った年。

公式戦時代のガーフィーとのコンビとは違って、シニアのガーフィーとは、何だか自然と微笑むことができるほど楽しかった。

プーキーとのコンビもなかなか勝てないけど、ハラハラドキドキでとっても楽しかった。これからも彼らと共に楽しい思い出を沢山積み上げていきたい。

今年はジャパンファイナルで選手宣誓までやらせて頂く事になり、これまで思ってきたことを多くの仲間に伝え、共有してもらおうこともできたと思う。随分間違えたりつかえたりしたけれど、皆に伝え、共に宣誓した事は「とにかく楽しもう」と言うことだった。初日の開会式に参加できなかった仲間にも、この場を借りてぜひ伝えたい。

- 一、スポーツマンとして、常により高いレベルを目指し、正々堂々競い合う事を楽しむ事
- 一、大会参加者として、大会の準備にご尽力頂いた方々への感謝を忘れず、全国から集まったフリスビー犬愛好家の仲間との集いを楽しむ事
- 一、愛犬家として、マナーを守り、素晴らしいパートナーである犬と、このかけがえの無いひと時を共に思い切り楽しむ事

我々選手一同は、2008年ジャパンファイナルと言う、年度を締めくくる最大の大会に参加するにあたり、力いっぱい楽しんで、楽しんで、楽しみ抜くことを誓います。

皆、大切な愛犬と共に集い、語り合ったり競い合ったりして楽しみたいからこそ、貴重な時間とお金を費やして、雨の日も風の日も毎週のように集っている。

もちろん試合だから、勝ち負けもいろんな課題もある。でも、それらも全て仲間や愛すべき犬達との、大切な思い出となる。人も犬も、運営者も参加者も見学者も、皆が本当に楽しめてこそ、この競技がさらに一層繁栄、発展していくのではないかと思います。



決勝は、しゅ〜まがこうふんしていて、ディスクがボロボロでエッジが2ヶ所も割れていました。でも、力いっぱい投げたディスクはしゅ〜まが全部キャッチしてくれて38pでした。

全部の人のプレイが終わって「優勝」と言われた時は、びっくりしました。なぜなら、ぼくたちは三位通過だったし、ポイント差もあいていたし、あとの人はとても上手な人ばかりだったからです。

でも、すごくうれしかったです。

応えんしてくれたみなさん、今年いっしょにペアを組んでくれたチロパパ、本当にありがとうございました。

そして、しゅ〜ま、まだフリスビーを始めて1年も経っていないのに日本一をとってくれてにありがとう！

これからも、いっしょにがんばろうね。

(古野溪太郎)

ファイナル参戦記



こども(低学年)の部

古野溪太郎 & SARAH



ぼくにとって、今年は4回目のファイナルでした。

ぼくは毎年のようにサラと1ラウンドはトップで、2ラウンドは全然だめで1度も決勝に残ったことはありませんでした。

今年は、しゅ〜まが1ラウンドトップの49pで、サラは27pしかありませんでした。

でも、2ラウンドで、しゅ〜まは10p、サラは47pでサラで初めて決勝に残ることができました。

ぼくは決勝の時、人のプレイを見ていて、いつもの大会とは全然ちがうきんちょう感がしました。でも、ぼくはいつもどおり力いっぱい投げることができました。

3投目で場外にだしてしまって、すごくあせったけれど、4投目から気をとり直して投げました。コートぎわのスローもサラががんばってとってくれました。

結果、1p差で優勝できました。

ぼくは、サラとこども大会で優勝できたことが何よりもうれしかったです！！

サラはぼくが幼稚園の年長の時に、保護された犬をお父さんとお母さんが引き取ってきました。2年前の夏には大きな病気をして、この春には左目の視力を失いました。でも、サラちゃんは片目で一生けん命ががんばってくれました。

ぼくのために力いっぱい小さな身体で走ってくれました。

ぼくはサラが大好きです。

もうすぐシニアになるサラとこれからも無理のないようにいっしょに楽しんでいきたいです。

最後にたくさんおうえんしてくれたみなさん、サラを助けてくれたみなさん、いろんなことを教えてくれたみなさん、本当にありがとうございました。



シニアドッグの部

榊原虎也 & 珊瑚

二年前の水戸のFINALを偶然見学したことから我家の挑戦は始まった。

最初は地元開催(旧関東本部)のチャレンジ大会のファイナリストに“ラブラドルの海と珊瑚”で進出することを目標に家族全員で頑張った。

半年で目標は達成でき優勝することもできた。やがて更なる目標…“JAPANFINAL出場”をかけた頑張りました。

僕は子供大会に海と珊瑚で、ユースオープンにお父さんと珊瑚、お兄ちゃんと珊瑚で頑張った。家族みんなで頑張った。各大会では家族みんなで笑ったり泣いたりした。

僕もお兄ちゃんも『年間チャンピオン』という最高の結果でノミネート。しかし僕たちの目標はここで達成して、JAPANFINALには見学も含め旅行の楽しみが大きく、参加できることに喜びを感じていた。

はっきり言って緊張は無く気楽だった。

しかし1日目のお兄ちゃんと珊瑚の大会を観て緊張感というより恐怖感を覚えた。

海と珊瑚を信じ応援してくれる友達の力を借りて力一杯投げた1Rは満足とは言えないものだった。

そして僕は基本的なことを忘れていたことに気がついた。『勝負じゃない。楽しむことだ』

2Rは大きな声で海と珊瑚の名前を呼び思いっきり楽しんだ。結果は珊瑚で決勝ラウンドへ海は5位。海の雪辱をパワーに代えて臨んだ珊瑚との決勝ラウンド、海を想う気持ちは僕のスローを完璧にしてくれた。

5投パーフェクトの50pだ。逆転で優勝だ。

ウィングランの初体験…。ライズマンが僕の背中を軽く押してくれた。嬉しかった。柔らかい手、冷たい手、温かい手、たくさんの手が僕を笑顔で迎えてくれた。泣いて祝福してくれたお友達もいた。

「僕、泣きそうだよ」とお母さんのもとに走って帰ると、笑顔で「泣いて良いのよ」と言うお母さんの目も赤かった。

海と珊瑚に『ありがとう』の気持ちで一杯です。

2009年度には更なる楽しみを求めて挑戦し続けます。



RESULT

● グランドチャンピオンシップ

順位	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	西 山 哲 也	サリー	兵庫県	ボーダーコリー	102
2	田 口 佳 奈	SENNA	岡山県	ボーダーコリー	101
3	高 橋 毅 一	vogue	神奈川県	ボーダーコリー	100(39)
4	谷越久仁夫	環菜	岩手県	ボーダーコリー	100(32)
5	松 尾 至	NOVA	長崎県	ボーダーコリー	99(9)
6	荻野隆行	くらら	大阪府	ラブラドル	99(8)
7	今村武史	Mercury	大阪府	ボーダーコリー	94
8	杉本繁郎	ラーチ	北海道	ボーダーコリー	86
9	四方田 竜	Luce	熊本県	ボーダーコリー	83(10)
10	間 禎 永	Grass	福岡県	ボーダーコリー	83(8)
11	福 尾 光 一	BRUCE	岡山県	ボーダーコリー	82

上記チームにて決勝

12	小 峰 泉	けちゃっぶ	埼玉県	ボーダーコリー	63(31)
13	助 定 潤 司	モナ	兵庫県	ボーダーコリー	63(28)
	須 貝 信 也	Lien	岐阜県	ボーダーコリー	63(28)
15	吉 武 竜 司	Stella	福岡県	ボーダーコリー	62(38)
16	外 崎 晃	パルカ	山梨県	ボーダーコリー	62(34)
17	勝 又 明 寿	MARO	静岡県	ボーダーコリー	62(32)
	田 淵 義 博	SOPHIA	京都府	ボーダーコリー	62(32)
19	森 脇 俊 昭	BAHT	大阪府	ボーダーコリー	62(30)
20	石 井 修	ピヨン	千葉県	ボーダーコリー	62(28)
21	工 藤 祐 也	Pearl	北海道	ボーダーコリー	60(34)
22	田 中 勝 則	遥	兵庫県	ボーダーコリー	60(32)
23	山 本 孝 治	クク	兵庫県	ウィペット	60(24)
24	小 林 弘 典	レック	岡山県	ボーダーコリー	59
25	田 口 佳 奈	LUKE	岡山県	ボーダーコリー	58(22)
26	永 田 亨	Willie Kirkland	千葉県	ボーダーコリー	58(16)
27	淀 川 和 馬	天	和歌山県	ボーダーコリー	57
28	西 山 祐 真	サリー	兵庫県	ボーダーコリー	56(34)
29	三 浦 武 也	CHERRY	滋賀県	G.シェパード	56(30)
30	小 峰 泉	あどるふ	埼玉県	ボーダーコリー	55(30)
31	小 堀 清 和	Twister	千葉県	ボーダーコリー	55(25)
32	伊 原 明 良	ANDY	千葉県	ボーダーコリー	55(23)
33	西 山 哲 也	ハンター	兵庫県	ボーダーコリー	54(30)
34	三 本 欽 麗	Yupa・Mirauda	東京都	ボーダーコリー	54(20)
35	山口朋孝	RUSTY	兵庫県	ボーダーコリー	54(14)
36	井 上 弘 之	ゆふ	埼玉県	ボーダーコリー	53(27)
37	加 部 真 巳	Mai	大阪府	ラブラドル	53(21)
38	中 川 剛 彦	凜子	広島県	ボーダーコリー	52(34)
39	青 柳 洋 平	スヌーピー	北海道	ボーダーコリー	52(32)
40	井 上 弘 之	狼 (うろふ)	埼玉県	ボーダーコリー	51(28)
41	谷越久仁夫	modern	岩手県	ボーダーコリー	50(32)
42	福 本 義 裕	ミニョン	茨城県	ボーダーコリー	50(22)
43	永 田 明 美	Willie Kirkland	千葉県	ボーダーコリー	50(20)
44	加 藤 徹 哉	LYNX	宮城県	ボーダーコリー	50(19)
45	小 山 隆	DERRINGER	東京都	グロウンダール	50(14)
46	和田陵太郎	Diana	福岡県	ボーダーコリー	48(24)
47	坂 口 裕 生	うらん	静岡県	ボーダーコリー	48(20)
	吉 野 義 一	モーガス	熊本県	ウィペット	48(20)
49	加 藤 典 一	日の丸	東京都	ボーダーコリー	46
50	中 村 裕 司	フラッシュ	千葉県	ボーダーコリー	44(26)
	仲 雅 弘	LUZ	埼玉県	グロウンダール	44(26)
52	五十嵐誠	チョッパー	茨城県	ボーダーコリー	44(22)
53	川 野 辺 正	波平	茨城県	ラブラドル	40(32)
54	吉 野 義 一	ブリッサ	熊本県	ボーダーコリー	40(24)
55	島 本 圭 悟	Beak	徳島県	ボーダーコリー	40(16)
56	深 谷 浩 之	TIGA	岐阜県	ウィペット	40(10)
57	上 田 彰	SANTA	大阪府	ボーダーコリー	37
58	稲 葉 秀 昭	フェスタ	滋賀県	ボーダーコリー	36
59	洪 谷 功	疾風	岡山県	ボーダーコリー	34
60	藤 原 洋 喜	クリス	兵庫県	マリノア	32(18)
61	瀧 浦 慶 郎	エール	大阪府	ボーダーコリー	32(16)
62	小 井 正	セベリアーノ	大阪府	ボーダーコリー	27(13)
63	団 野 悦 郎	心	大阪府	ボーダーコリー	27(0)

● フリーフライトチャンピオンシップ

順位	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	友 広 祐 也	JET	北海道	ボーダーコリー	195.6
2	澤 幹 子	綺羅	大阪府	ボーダーコリー	189.5
3	山 下 靖	Dream	北海道	ラブラドル	186.7
4	杉 本 繁 郎	555	北海道	ボーダーコリー	181.2
5	渡 邊 賢 次	CONNY	茨城県	A.シェパード	180.2
6	間 美 加	Digital	福岡県	ボーダーコリー	175.6
7	南 浩 一	GLORY	兵庫県	ボーダーコリー	172.2
8	高 坂 健 一	Mist	神奈川県	ラブラドル	166.9
9	千 葉 光 敏	メロ	北海道	ボーダーコリー	162.6
10	松 坂 高 年	ダリア	北海道	ラブラドル	159.8
11	宮 口 真 理	アルカ	北海道	ボーダーコリー	158.3
12	牛島由加里	AXS	福岡県	ボーダーコリー	153.6
13	千 葉 光 敏	マジック	北海道	ボーダーコリー	148.7
14	工 藤 祐 也	トム	北海道	ボーダーコリー	144.0
15	高 坂 健 一	Bond	神奈川県	ラブラドル	142.8
16	邊 見 貴 行	sindbad	東京都	ボーダーコリー	141.6
17	田 淵 義 博	SOPHIA	京都府	ボーダーコリー	138.6
18	森 國 拓 磨	華	大阪府	ボーダーコリー	137.9
19	新 出 陵 子	ひより	北海道	ボーダーコリー	136.9
20	和田陵太郎	華鈴	福岡県	ボーダーコリー	134.5
21	佐々木雅敏	BoB	福岡県	W.コーギー	115.0

● スモールドッグチャンピオンシップ

順位	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	三 崎 彰 午	ミュウ	和歌山県	W.コーギー	67
2	深 見 秀 隆	ボボ	岐阜県	W.コーギー	59
3	平 岡 喜 代	トム・クールビズ	奈良県	ビーグル	58
4	土 田 雅 志	栗の介	静岡県	W.コーギー	56
5	奥田なぎさ	沙羅	大阪府	ミックス	45

上記チームにて決勝

6	城 戸 英 二	みみ	熊本県	W.コーギー	38(26)
7	畔 出 裕 隆	Brian	東京都	ジャックラッセル	38(22)
8	佐々木雅敏	BoB	福岡県	W.コーギー	37(24)
9	海野真由美	mahana	静岡県	Mブードル	37(22)
10	眞 田 知 博	へいろー	千葉県	W.コーギー	34
11	奥田なぎさ	世那	大阪府	ミックス	33
12	加 藤 宣 文	なな	埼玉県	ミックス	32(14)
13	城 戸 英 二	はな	熊本県	W.コーギー	32(11)
14	溝 尾 雅 広	エリス	広島県	W.コーギー	30(12)
15	古 東 優 子	B-tg	大阪府	W.コーギー	30(10)
16	山 本 真 衣	ナイル	兵庫県	W.コーギー	29(18)
17	吉 田 宏 明	ぶる〜す	大阪府	W.コーギー	29(11)
18	榎 裕 博 昭	銀次郎	大阪府	ミックス	28
19	谷 川 勉	もんもん	秋田県	W.コーギー	26(12)
20	平 岡 正 浩	モモコ	奈良県	柴犬	26(6)
21	松 本 博 子	チョビ	埼玉県	W.コーギー	25(13)
22	奥 山 正 一	フェアリー	岡山県	W.コーギー	25(10)
23	小 島 宏 允	リリィ	京都府	W.コーギー	24(14)
	山 下 晋 一	こはぎ	大阪府	W.コーギー	24(14)
25	溝 尾 美 咲	Luz	広島県	コイケルボンディエ	24(8)
26	後 藤 公 彦	鷹	埼玉県	W.コーギー	24(4)
	川 部 明 美	礼	東京都	ミックス	24(4)
28	藤 原 親	ハジメ	東京都	W.コーギー	24(0)
29	釘 宮 廣 巳	ヤマト	愛知県	W.コーギー	20(10)
30	四方田曉美	太陽	熊本県	W.コーギー	20(8)
	岡 本 俊 之	梨玖	京都府	ミックス	20(8)
32	福 原 芳 郎	来夢	兵庫県	ジャックラッセル	20(4)
33	関 奈 都 子	小太郎	東京都	W.コーギー	18
34	藤 田 浩 子	マイロ	奈良県	ジャックラッセル	12

RESULT

●レディースチャンピオンシップ

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	須貝ひとみ	Lien	岐阜県	ボーダーコリー	94
2	谷越雪絵	環菜	岩手県	ボーダーコリー	92
3	渋谷典代	疾風	岡山県	ボーダーコリー	91
4	長谷川政代	ビーチ♪	埼玉県	ボーダーコリー	89
5	秋吉涼香	ラオウ	和歌山県	ボーダーコリー	86
6	西前まな美	SUN	熊本県	ボーダーコリー	85
7	古野智子	schumacher	兵庫県	ボーダーコリー	76
8	中谷久美子	BoA	大阪府	ボーダーコリー	68
9	田中彩夏	ベリー	熊本県	ラブラドル	66

上記チームにて決勝

10	青柳愛佳	シェビー	北海道	ボーダーコリー	51
11	杉本恵子	ラーチ	北海道	ボーダーコリー	50(28)
12	奈良秋子	Anju	鹿児島県	ボーダーコリー	50(18)
13	四方田暁美	Luce	熊本県	ボーダーコリー	50(16)
14	秋吉涼香	viva+ガッツ!	和歌山県	ボーダーコリー	48(32)
15	後藤百合子	雅楽	埼玉県	ボーダーコリー	48(31)
16	松尾直美	NOVA	長崎県	ボーダーコリー	48(24)
17	菊地敦子	琥珀	青森県	ボーダーコリー	46(30)
18	加藤明美	美-GO!	兵庫県	ボーダーコリー	46(22)
19	小川真由美	James Moriarty	静岡県	ボーダーコリー	45(25)
20	深谷里美	555	岐阜県	ウイペット	45(22)
21	清田真里菜	ルナ	福岡県	ボーダーコリー	45(21)
22	須貝ひとみ	タフィー	岐阜県	ボーダーコリー	44
23	福本聡子	フィユ	茨城県	ボーダーコリー	43(27)
24	安田敦子	ガーフィー	神奈川県	ボーダーコリー	43(23)
25	谷越雪絵	modern	岩手県	ボーダーコリー	43(20)
26	江村富美子	リオ	静岡県	ボーダーコリー	42(27)
27	平谷砂也子	セーナ・シェリー	群馬県	ボーダーコリー	42(21)
28	柏木真理子	CLIFFORD	青森県	ボーダーコリー	42(12)
29	片岡千賀子	ゆ〜り	香川県	ボーダーコリー	41(21)
30	大沢久枝	サム	北海道	ボーダーコリー	41(19)
31	杉田春美	ドビー	三重県	ボーダーコリー	40
32	瀧浦容子	エール	大阪府	ボーダーコリー	39
33	平谷砂也子	スカリー	群馬県	ボーダーコリー	38(22)
34	京極明日香	RAYRA	和歌山県	ボーダーコリー	38(18)
35	瀧浦容子	リコ	大阪府	ボーダーコリー	38(18)
36	水木幸子	さくら	北海道	ボーダーコリー	38(18)
37	長嶋こずえ	GABEL	埼玉県	ボーダーコリー	38(17)
38	松原早希	アスター	奈良県	ボーダーコリー	37(18)
39	中川由美	凜子	広島県	ボーダーコリー	37(15)
40	泉澤順子	CELEB	岩手県	ボーダーコリー	37(13)
41	杉本恵子	555	北海道	ボーダーコリー	36(24)
42	山元満月	Ruber	福岡県	ボーダーコリー	36(22)
43	青田恵子	LIKE	兵庫県	ボーダーコリー	35
44	伊原博美	ANDY	千葉県	ボーダーコリー	34(22)
45	中川祐子	クララ	茨城県	ボーダーコリー	34(20)
46	坂上真理	ジュエル	東京都	ウイペット	34(12)
47	八幡瑛菜	マイクロ	兵庫県	ストロングアイ	34(6)
48	貴志朋香	ふぶき	大阪府	ラブラドル	32(12)
49	山元満月	Diana	福岡県	ボーダーコリー	32(12)
50	藤原尚子	朝陽	兵庫県	ラブラドル	28(10)
51	福本聡子	petitange	茨城県	ボーダーコリー	28(10)
52	水木幸子	わかば	北海道	ボーダーコリー	26(10)
53	加藤静穂	LYNX	宮城県	ボーダーコリー	26(6)
54	三浦杏奈	CYBELE	滋賀県	ボーダーコリー	20(10)
55	古野智子	SARAH	兵庫県	ボーダーコリー	20(6)

●こどもの部チャンピオン決定戦(高学年)

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	神原虎也	珊瑚	埼玉県	ラブラドル	118
2	福本巴亜人	ミニョン	茨城県	ボーダーコリー	115
3	福本巴亜人	petitange	茨城県	ボーダーコリー	103

上記チームにて決勝

4	三浦菜林	CYBELE	滋賀県	ボーダーコリー	64
5	神原虎也	海	埼玉県	ラブラドル	59
6	吉川響	杏	奈良県	ボーダーコリー	48
7	藤原拓海	ニナ	兵庫県	Bタービュレン	35
8	小松崎佑介	ビビ	茨城県	ボーダーコリー	27
9	光井奏太	TEANA	大阪府	ラブラドル	10
10	三浦菜林	CHANEL	滋賀県	G.シェパード	0

●ペアの部チャンピオン決定戦

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	古野溪太郎・上田彰	schumacher	兵庫県	ボーダーコリー	73
2	松尾直美・松尾至	NOVA	長崎県	ボーダーコリー	71
3	深谷里美・深谷浩之	TIGA	岐阜県	ウイペット	66

上記チームにて決勝

4	新堂雪絵・亀井伸介	キトリ	三重県	ラブラドル	34
5	渋谷典代・杉本美由紀	疾風	岡山県	ボーダーコリー	34
6	瀧浦容子・瀧浦慶郎	エール	大阪府	ボーダーコリー	30
7	京極明日香・三崎彰午	RAYRA	和歌山県	ボーダーコリー	30
8	後藤百合子・後藤公彦	雅楽	埼玉県	ボーダーコリー	30
9	加藤明美・加藤幹彦	美-GO!	兵庫県	ボーダーコリー	28
10	有馬智津子・有馬真	ソラン	埼玉県	ボーダーコリー	26
11	水木幸子・工藤祐也	わかば	北海道	ボーダーコリー	25
12	山本真衣・平岡正浩	ナイル	兵庫県	W.コーギー	25
13	八幡瑛菜・竹山和博	マイクロ	兵庫県	ストロングアイ	23
14	小泉和子・小泉一弘	シェイク	千葉県	ボーダーコリー	21
15	東恵美子・吉野義一	小次郎	熊本県	ラブラドル	20
16	香取純子・浅田潤也	ファイン	神奈川県	ボーダーコリー	20
17	吉川英代・吉川正彦	VODKA	兵庫県	A.シェパード	20
18	八幡美可・八幡誠	DIESEL	兵庫県	ストロングアイ	20
19	齋藤美和・大木栄明	小鉄	山形県	ボーダーコリー	10
20	平岡喜代・西川正洋	アリエル	京都府	ボーダーコリー	0

●シニアドッグの部チャンピオン決定戦

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	安田伸之	ガーフィー	神奈川県	ボーダーコリー	95
2	宮迫裕二	IVY	京都府	ボーダーコリー	90
3	井上靖章	CAP	大阪府	A.シェパード	70
4	山本勝	モネ	静岡県	ダルメシアン	68
5	越村義彦	天山	石川県	ボーダーコリー	57

上記チームにて決勝

6	中川剛彦	菜々子	広島県	ラブラドル	44(26)
7	深谷浩之	SEVEN	岐阜県	GSポインター	44(22)
8	加藤徹哉	ASH	宮城県	ボーダーコリー	44(16)
9	中村信子	フラッシュ	千葉県	ボーダーコリー	42
10	加藤典一	富士丸	東京都	ボーダーコリー	41
11	山口裕二	こうめ	神奈川県	ラブラドル	39(24)
12	工藤勤也	LARPH	愛知県	ゴールデン	39(13)
13	杉本恵子	ミキちゃん	北海道	ラブラドル	37
14	友田雅美	ラム	奈良県	ラブラドル	32(22)
15	友田裕輔	リラ	奈良県	ラブラドル	32(8)
16	田口久善	SENNA	岡山県	ボーダーコリー	32(4)
17	荻野隆行	ココ	大阪府	ラブラドル	27
18	小山隆	アイス	東京都	グローネンダール	26(16)
19	稲葉秀昭	ウィンク	滋賀県	ボーダーコリー	26(12)
20	河瀬重治	ラン	富山県	ラブラドル	24
21	福原芳郎	ミミ	兵庫県	ジャックラッセル	20
22	清水清之	Mac	兵庫県	ボーダーコリー	17
23	島本富生	Paul	徳島県	ボーダーコリー	13
24	山口裕二	さくら	神奈川県	ラブラドル	11
25	近藤高弘	クッキー	広島県	ラブラドル	8
26	藤田篤	ピース	兵庫県	ラブラドル	6

●こどもの部チャンピオン決定戦(低学年)

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	古野溪太郎	SARAH	兵庫県	ボーダーコリー	111
2	東出実久	ブラッド	大阪府	ボーダーコリー	110
3	嶋田歩優	MEL	神奈川県	NZハンタウェイ	92

上記チームにて決勝

4	高橋未夢	chris	神奈川県	ボーダーコリー	70
5	高橋未夢	rachel	神奈川県	ボーダーコリー	60
6	古野溪太郎	schumacher	兵庫県	ボーダーコリー	59
7	長尾大和	モモ	兵庫県	ボーダーコリー	53
8	八幡琳珠	ムーア	兵庫県	ボーダーコリー	36
9	嶋田歩優	REX	神奈川県	ボーダーコリー	32(24)
10	中村優斗	JACK	宮城県	ボーダーコリー	32(18)

JAPAN FINAL 2008 in 三重伊賀

● ユースオープンの部チャンピオン決定戦(個人)

順位	氏名	犬名	出身地	ポイント
1	八幡 誠	DIESEL	兵庫県	102
2	榊原 龍也	珊瑚	埼玉県	88
3	宮迫 裕二	RALPH	京都府	81
4	柏木真理子	CLIFFORD	青森県	74
5	千葉 光敏	メロ	北海道	70
6	馬場 善浩	クララ	神奈川県	65
7	山崎 光	天花	高知県	65

上記チームにて決勝

8	東出 拓也	ブラッド	大阪府	50(22)
9	勝又 明寿	MAYA	静岡県	50(19)
10	加藤 明美	HANA・美	兵庫県	48
11	北川 安洋	シルフィー	奈良県	47
12	石田 豊	ハービー	福井県	46(24)
13	長屋 隆司	Jake	岐阜県	46(22)
14	佐藤 譲	天	静岡県	46(16)
15	木田 明美	FLY	大阪府	44(30)
16	梅田 浩一	RAY	大阪府	44(28)
17	吉武 宏彰	Brave	福岡県	44(20)
18	林田 知穂	NUEVO	東京都	44(18)
19	中村 清則	JACK	宮城県	44(17)
20	浅田 潤也	ファイン	神奈川県	42
21	崎山 真理	岳	山梨県	41
22	森 雅昭	はる	奈良県	40(26)
23	渡辺 立志	帆奈	新潟県	40(25)
24	高桑 治一	B	大阪府	40(24)
25	河口 典子	ルル	熊本県	40(22)
26	金子 勝	雛	愛知県	40(18)
27	大石 哲也	Mavis	静岡県	40(12)
28	新津 芳博	Belle	静岡県	39(24)
29	高橋 孝典	ティル	埼玉県	39(21)
30	福本 博	アトム	北海道	39(20)
31	坂井 武司	ラッシュ	奈良県	39(15)
	八木 圭助	マナ	兵庫県	39(15)
33	飯村 聡	六花	神奈川県	39(14)
34	江村 康秀	カロリ	静岡県	39(8)
35	柏原 克彦	リキ	大分県	38
	小井 正	リベニーノ	大阪府	37(16)
36	榊原 弘泰	珊瑚	埼玉県	37(16)
	溝尾 雅広	SALAN	広島県	37(16)
39	山元 満月	Diana	福岡県	37(12)
40	中條 千雪	フィリア	三重県	37(11)
41	新堂 雪絵	キトリ	三重県	36(20)
42	松尾 英行	こなつ	奈良県	36(15)
43	吉川 正彦	VODKA	兵庫県	34(24)
	鈴木 武司	ハル	千葉県	34(24)
45	福島 則行	リック	東京都	36(15)
	古野 智子	schumacher	兵庫県	36(12)
46	佐藤 広	KAI	新潟県	36(12)

順位	氏名	犬名	出身地	ポイント
48	池内 実	Runa	千葉県	34(22)
	東條和歌奈	さらり	三重県	34(18)
49	酒井 廣子	ミルキィ	三重県	34(18)
	水木 幸子	さくら	北海道	34(18)
52	鶴田英二郎	Kaela	熊本県	34(17)
53	木下 誠	Dion	兵庫県	34(12)
54	菊地 浩樹	琥珀	青森県	34(11)
55	遠山由美子	SARA	神奈川県	34(10)
56	植田 昌広	カイ	長野県	34(2)
57	東 恵美子	小次郎	熊本県	33(15)
	斉藤 正巳	海	兵庫県	33(15)
59	中島 忠彦	G.F.DOR	滋賀県	33(13)
60	寺本 正人	みいり	三重県	33(11)
61	東條 浩一	ライズ	三重県	32(23)
62	畑中 松雄	シューター	三重県	32(20)
63	山本 栄治	クファン	兵庫県	32(16)
	齋藤 美和	小鉄	山形県	32(16)
65	清水 昭男	DIAZ	兵庫県	32(12)
66	市川 雅士	Mimosa	静岡県	32(8)
67	今村 武史	ラン	大阪府	32(6)
68	森 高裕士	コリック	福岡県	30(25)
69	片岡 千賀子	ゆ〜り	香川県	30(24)
70	福知 一樹	羽衣	茨城県	30(20)
71	越村 義彦	天山	石川県	30(14)
72	田中 祥子	ベリー	熊本県	30(10)
	野田 希子	紫音	福岡県	30(10)
74	清田 瑞月	ZIETA	神奈川県	30(4)
75	中村 貴裕	ニコ・ロビン	和歌山県	29(18)
76	坂上 淳一	エルフ	東京都	29(16)
77	河村 悦郎	Anger	新潟県	29(15)
78	滝 修二	JAM ROCK	愛知県	29(9)
79	馬場由紀代	クララ	神奈川県	28(24)
80	高橋 恵美	ロビン	埼玉県	28(20)
81	高桑 真紀	B	大阪府	28(14)
82	西村 久志	フィックス	三重県	28(12)
	西田 茂	Bell	大阪府	28(12)
84	山田 仁	エルダ	新潟県	28(10)
85	太田 優希	ティナ	岡山県	28(4)
86	黒木 浩幸	パーツ	京都府	27(20)
87	稲葉 有紀	ミント	滋賀県	27(10)
88	福田 吉宏	スタン	東京都	27(6)
89	田中 勝則	遼	兵庫県	26(14)
90	対馬 和幸	玲亜	神奈川県	26(12)
91	海保 正男	アルフィー	千葉県	26(10)
92	石松 貴夫	クラウド	福岡県	26(8)
93	松原 政代	アスター	奈良県	26(7)
94	油利 亨	アル	滋賀県	25(17)
95	小祝 英二	ジャスティス	茨城県	25(15)

順位	氏名	犬名	出身地	ポイント
96	中川 成人	Jerry Rice	茨城県	24(24)
97	大木 栄明	Andy	山形県	24(6)
98	高橋 達也	モコ	京都府	23(18)
99	河瀬 重治	もも!	富山県	23(14)
100	島村 葉子	ミルフィー	京都府	23(13)
101	坂谷 恵	ジェイク	新潟県	23(10)
102	片岡 裕貴	なつめ	香川県	22(16)
103	二本柳 年彦	Peace	青森県	22(8)
104	野田 真範	紫音	福岡県	21(16)
105	鮫島 直美	WINDY	兵庫県	21(5)
106	保科 憲子	OTTEY	東京都	21(4)
107	上田 彰	JIRO	大阪府	19(12)
108	清水 佳那	CANDY	兵庫県	19(11)
109	西前よう子	まる	熊本県	19(9)
110	原田 千明	凜桜	青森県	19(6)
111	松原 政春	きらら	京都府	18(12)
112	川越 哲男	Layla	山形県	18(10)
113	河波 美佐	スピカ	和歌山県	17(12)
114	平野 正憲	ライト	神奈川県	17(11)
115	亀井 伸介	ウェンディ	三重県	17(8)
116	宮迫 昌志	Lucy	大分県	17(5)
117	松下 美空	テリュース	神奈川県	16(16)
	渡邊 賢次	VIVIAN	茨城県	16(16)
119	長嶋 新樹	みんと	埼玉県	16(6)
120	八幡 美可	ムーア	兵庫県	16(5)
121	木田 伸弥	NEO	大阪府	15(8)
122	上田 隆行	桃子	兵庫県	15(7)
123	秋吉 涼香	タシグ・ホルディ	和歌山県	15(5)
124	大橋 利弘	ラム	三重県	14(14)
	牧田 浩幸	キース	兵庫県	14(14)
126	千葉真美子	ボス	北海道	14(3)
	山下 靖	クローゼ	北海道	14(0)
127	石塚 慎也	X	山形県	14(0)
129	深谷 里美	555	岐阜県	13
130	遠山 幸充	TENMA	神奈川県	11
	新屋 正子	懶々	滋賀県	10(4)
131	伊都 和美	KAGUYA	和歌山県	10(4)
133	和田 陵太郎	華鈴	福岡県	8(0)
	菊地 敦子	珊瑚	青森県	8(0)
135	河波 弘隆	ルビィ	和歌山県	4(4)
	小松崎 優美	ビビ	茨城県	4(4)
137	新屋 正弘	懶々	滋賀県	4(0)

● ユースオープンの部チャンピオン決定戦(団体)

順位	住所	氏名 & 犬名	ポイント
1	東海 II	長屋 隆司 & Jake 勝又 明寿 & MAYA 佐藤 譲 & 天	38.8
2	奈良	松原 政代 & アスター 松尾 英行 & こなつ 北川 安洋 & シルフィー 坂井 武司 & ラッシュ	37.6
3	兵庫 III	斉藤 正巳 & 海 加藤 明美 & HANA・美 山本 栄治 & クファン 清水 昭男 & DIAZ 八木 圭助 & マナ	36.8



フリスビードッグ殿堂



團野悦郎 & ケーブ



加藤典一 & 富士丸



三本欽麗 & Kaiser・Hose



井上弘之 & ゆふ



加部真巳 & Mai



間 禎永 & Grass



仲林謙治 & ロブロス

本年度より、『フリスビードッグ殿堂』が設けられ、2008年度ジャパンファイナルにおいて7チームが認定されました。

協会発足以来15年。年々広がりを見せるわが国のフリスビードッグの歴史の中で、特筆すべき業績を残したチームを認定し、その栄誉を称えるとともに、フリスビードッグの歴史に、その名前が刻まれました。



2008年度表彰式典が

開催されました。

ジャパンファイナル 2 日目の11月2日(日)、上野フレックスホテルにおいて、2008年度 表彰式典 が行われました。ジャパンファイナル連続出場や各部門のランキング上位チーム、今年度の公式シリーズ選手権・公式クイーンズ選手権を制覇したチーム、そして、活躍が著しかった選手に贈られるMIP賞などの表彰が行われました。



日本フリスビードッグ協会

本部事務局 ● 〒950-0993 新潟県新潟市上所中2丁目1番6号
TEL.25-280-1256 FAX.025-280-1257
URL:<http://www.frisbeedog.co.jp/>